



サステナブル ディベロップメント ゴールズ

SDGsとは「Sustainable Development Goals」の略。「エス・ディー・ジーズ」と読み、日本語では「持続可能な開発目標」と訳されています。SDGsは貧しい国も豊かな国も豊かさを追求しながら、地球を守ることを呼びかけています。2030年までに達成しようと、いま世界中の人々がこの目標に取り組んでいます。

SDGsは「誰ひとり取り残さない」社会をつくるための目標

ゴールまでの道のり

1972年

環境と経済の関係が国連人間環境会議で初めて話し合われた。

人口増加や干ばつなどによる環境の破壊が続く。先進国は「地球環境を守ることが大切」と主張、開発途上国は「これまで開発を優先してきた先進国の責任」と反論。両者は激しく対立した。

1987年

国連総会で「持続可能な開発」が発表された。開発は「将来の世代と現在の世代、どちらの欲求も満足させるもの」であり「環境と開発は対立ではなく、共存するもの」という新しい考え方だった。

異常気象が災害をもたらしたり、開発途上国の発展に差が出てきたり、先進国でも貧富の差や人権問題など、新しい課題が出てきた。

2000年

国際会議ではMDGs*(ミレニアム開発目標)が取り上げられた。開発途上国を対象に貧困や教育など8つの目標を2015年までに達成することを目指した。成果はあったが「女性の地位の向上」や「二酸化炭素の排出量」などは達成できなかった。

※Millennium Development Goals



©アフロ

2015年9月

国連サミットに集まった世界のリーダー全員が賛成してSDGsが採択された。SDGsは「あらゆる貧困をなくし、不平等と闘い、気候変動に対処しながら、誰も置き去りにしないための取

組み」として17の緊急課題を目標にか

かけた。MDGsでは主に開発途上国の課題解決を目的としたが、SDGsは先進国の課題解決も目的とした。取り組みの中心もMDGsは国連や政府、SDGsでは自治体や企業、個人も加えた。



2030年

達成期限は2030年。地球規模の目標達成のために、みんなも何かに取り組んでみよう。

次のページでは17の目標について少し詳しく説明します。